

令和7年度 山形市放課後子どもプラン運営委員会 会議録

1 日 時 令和8年2月4日(水) 午後3時~4時

2 会 場 山形市役所7階 701A会議室

3 議 題 ○報告事項

- (1) 山形市放課後子どもプランについて
- (2) 令和7年度山形市放課後子どもプランの実施状況について
  - ① 山形市放課後子どもプランの運営委員会の開催
  - ② 山形市放課後子ども教室
  - ③ 山形市放課後児童健全育成事業
  - ④ 放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携

○協議事項

- (1) 令和8年度山形市放課後子どもプランの実施計画について
  - ① 山形市放課後子どもプラン運営委員会
  - ② 山形市放課後子ども教室
  - ③ 山形市放課後児童健全育成事業
  - ④ 放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携

4 出席者

山形市立蔵王第一小学校	校長	鈴木 章人
山形市立大曾根小学校	校長	晋道 康史
山形市児童健全育成クラブ連絡会	会長	高橋 公夫
山形市PTA連合会	副会長	伊藤 健二
中央公民館	館長	秋葉 春男
地域学校協働活動推進員(大曾根小学校)		寒河江 郁子
放課後子ども教室	コーディネーター	佐藤 弘樹
こども未来部	部長	庄子 久美子
教育委員会	部長	板垣 裕子

5 傍聴者 0人

6 審議経過

○報告事項について

【2(4)について】

- (委 員) 放課後児童クラブ関係者の学校運営協議会の委員になっているのは19校のみということか。  
それとも全放課後児童クラブの関係者が学校運営協議会の委員だが、欠席したということか。
- (事 務 局) 委員になっているのは小学校36校中19校のみである。

(委員) なぜ36校中19校のみなのか。

(事務局) 学校運営協議会の委員は、各学校の校長からの申出に基づいて教育委員会が任命する。教育委員会が校長の申出なしに放課後児童クラブの関係者を委員に任命することはできない。申し出ていただいた学校が19校だったということである。

(委員) そうだとすると、放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携のために放課後子どもプラン運営委員会が推奨すべきものを方策にするべきではないか。

(事務局) 放課後児童クラブ関係者が学校運営協議会の委員となることで、子どもたちの放課後の居場所に関する子どもの課題を学校と地域で共有できるし、解決のための取組がなされていくだろうという期待もある。そのメリットや効果について広く周知したいと考えている。

(委員) 蔵王一小では放課後児童クラブの指導員が学校運営協議会委員となっている。放課後児童クラブと学校と連携について、学校運営協議会で情報を交換しており、学校では見えない子どもの様子を知ることができる。その情報が子ども一人一人の実態に応じた教職員の丁寧な指導につながっている。プラスの面があるのは明らかであり、放課後児童クラブ関係者が委員となることが望ましいと思っている。

## ○協議事項について

### 【1(2)について】

(委員) 大曾根小放課後子ども教室は平成20年から18年間実施しているが、他の小学校区で放課後子ども教室を実施しないのは公平性に欠けるのではないか。他の地域の子どもたちの学習、体験活動はどうするのか。

(事務局) 放課後児童クラブがない大曾根地区では地域住民のネットワークを拡大し、地域と学校の連携協働体制を構築して地域全体で子どもたちを育てていくことがとりわけ重要であると考えている。また、平成19年度からの3年間のモデル事業から「豊かな関わりが子どもたちの中に生まれている」「地域の教育力の向上」といった成果があきらかになった。これは大曾根地区では特に重要な意味をもつのではないかと考えている。放課後子ども教室の実施により、大曾根地区では学校との連携・協働体制の構築が進んでいることを感じている。今年度、放課後子ども教室の体制を活用して「大曾根地区放課後子ども教室そねっこクラブ」が立ち上がった。地域住民が子どもたちの居場所づくりを進めている。これは大曾根小放課後子ども教室を実施してきたことによる成果の一つであると考えている。

(委員) 以前、大曾根地区で放課後児童クラブを立ち上げようとする動きがあった際は運営側の人数が一人、二人足りずに設置できなかった。しかし、大曾根地区にとって子どもたちの放課後の居場所が必要で、家庭の必要感もあるため、その後も山形市に要望したところ、国の放課後子ども教室のモデルプランの話があり、大曾根小放課後子ども教室の立ち上げが決まったと聞いている。この18年の間にも地域から放課後児童クラブの立ち上げについて市に要望しているが、今日まで大曾根小放課後子ども教室を続けていただいたことは子どもたちにとっても地域住民にとってもありがたいことであり、感謝している。ただ、大曾根小放課後子ども教室の開催日数は年間160日程度であり、それ以外の日の子どもたちの居場所については課題となっていた。令和6

年度に学校運営協議会で熟議を重ね、地域が主体となった「大曾根地区放課後子ども教室そねっこクラブ」を立ち上げることになり、4月から年間40日程度の予定で開催している。地域団体からの補助や地域住民から協力によって運営している。1日あたり8人から10人の子どもが参加しており、延べ人数は300人を超えた。保護者や子どもがそれだけ必要としているということだと思う。たしかに放課後子ども教室が大曾根小だけにあるということは疑問視されても仕方がないことではあるが、放課後児童クラブを開設できなかった大曾根地区には何の支援や補助もないのかという考え方を持っている方もいるということも理解していただきたい。

(委員) 「そねっこクラブ」を立ち上げる話がでたとき、保護者の意見として多かったのが金額的なことだった。参加費を通常の放課後児童クラブの半分程度で保護者に提案したところ参加する児童が集まらなかった。大曾根地区では三世帯同居率が高いため、お金を出さずとも祖父母に預けることができる。他地区の放課後児童クラブに子どもを通わせている保護者からすれば不信感や疑問を抱くのは当然のことであるが、大曾根地区には放課後児童クラブがないために長期休業中に子どもを預けられないため正社員として働くことができない、送迎や受け入れ人数の問題等から他地区の放課後児童クラブにかよっていくことができない、と大変な思いをしている話も聞いている。大曾根小放課後子ども教室があることで保護者としては大変助かっている。しかし、ただ甘えるだけではなく、自分たちでやることはやるということで、今年度から「そねっこクラブ」を立ち上げた。来年度以降も継続していきたい。質問になるが、大曾根小放課後子ども教室に他校の児童が参加することは可能なのか、なぜ他の学校に放課後子ども教室を開設しなかったのか、理由があれば教えていただきたい。

(事務局) 大曾根小放課後子ども教室の対象は大曾根小学校の児童としているが、ニーズがあれば応えられるよう検討していく。平成19年度から3年間のモデル事業の効果を検証し、「満足度が高い」「学びのリズムが習慣化する」「学校の授業が定着することが期待できる」などの成果が明らかになり、その後も継続していくことになった。一方で、「活動教室の確保」、「スタッフの確保」などに難しさがあり、対象校を拡大せずに既存の3校の充実を図ることにしたと聞いている。

(委員) 大曾根地区に放課後児童クラブが必要なのであれば提供できるように市が考えるべきであり、それが保証されるように対策をとるべきである。教育委員会から、放課後子ども教室は放課後児童クラブの代替ではないとの説明を受けている。

(委員) 大曾根小学校の児童は宿題の予習や復習を見てもらったり、スポーツなどの体験をしたりと、放課後子ども教室の恩恵を受けている。しかし、他地区の放課後児童クラブに参加できない児童はそれをするのにお金がかかり、自前で参加している。これからも大曾根小放課後子ども教室が続いていくとすると、他地区との公平性が保たれない。

(委員) この問題はずっと教育委員会に突き付けられており、基本的には放課後児童クラブが法的にできないからこの状態が続いている。まずはできるシステムを考えるとところからスタートするとよいのではないか。不公平感はその通りだと思う。ただ大曾根地区の住民が困っているという現状の中で、子ども教室に甘えず自分たちで居場所をつくっている。それを充実していくことで放課後児童クラブの立ち上げも可能になると思う。

(事務局) 長い期間、留守家庭児童がいるが費用面等でクラブが立ち上げられなかったことについて相談

を受けている。また、大曾根地区の放課後児童クラブの必要性も認識しており、現在検討を進めている。他地域の児童クラブへの送迎等も含めて関係団体等と検討している。

【1(4)について】

(委員) 放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携について地域学校協働活動推進員はどの程度認識し、自覚しているのか。

(事務局) 資料8ページの活動は基本的には地域学校協働活動推進員がコーディネートしている。年に3回地域学校協働活動推進員情報交換会を実施しており、その際に、地域主体型放課後子ども教室について説明をしたり、取り組み事例を紹介したり、放課後児童クラブとの連携を促したりしている。実際に地域主体型放課後子ども教室を実施することになる場合には、地域学校協働活動推進員と直接話して促すことを考えている。

(委員) 中学生も地域主体型放課後子ども教室に参加している。部活動の地域展開という点からも地域主体型放課後子ども教室を推進していただきたい。

※「5 協議事項(1)令和8年度山形市放課後子どもプランの実施計画について」は全委員より承認を得た。